

情報連絡員報告を中心とした

## 県内の中小企業動向

8月

### ■パン製造

夏休み期間中で、給食用パン・米飯の製造はない。

8月21日に千葉県学校給食会主催の「会食フェア」が催され、組合では給食用「こめ粉パン」の展示販売を行った。

### ■めん類製造

毎年2回改定することになって、いる政府売渡麦価の10月改定分が10%アップに決定。予定されていた幅より政策的に低く抑えられているが、これで2年連続4回目の原料値上げとなり、製品への転嫁という課題が今後も続く。

### ■シャツ製造

百貨店の売上げが伸びず、業界全体が悪い。中には春先から前年割れが続くところもあり、景気は悪くなる一方である。

### ■製材

低迷が続いている。特に夏季は良くなく、秋に向かって新築着工が少なく、リフォームが中心になるとみている。

### ■印刷

8月は実稼動日が約半月で、そもそも活動が低調なところにこの景況感を反映し、用紙・印刷資材の販売が大変悪いようで、当然組合員各社の状況も悪い。

6・7月に用紙の価格が15%値上がりしたが、今度は9月と10月にインキと刷版メーカーの各社が値上げを行うとの通知があった。組合員には価格上昇分の転嫁ができるよう指導しております。

### ■生コン製造

7月単月で前年比85%、4・7月累計で前年比79・5%と回復の兆しがみえず、初期想定を大中に下回る落ち込み。

### ■電気鍍金

全組合員事業所の景況調査のIDが、前月比(-)70・6%、前年比(-)64・7%と全項目マイナスであった。

### ■鉄工

景況悪化が続いており、先行きの見通しは厳しい。

### ■機械部品製造

収益は依然厳しい状況で、資金繰りに影響が出始めた。特殊企業一部を除いて、不況の状況にある。

### ■石油製品製造

海外からの需要は増えているが、海外の大規模資本が動き、当組合では対抗が困難である。

組合の財務状況は悪化、今後の活動に不安が募っている。

### ■建築材料卸売

再生法・更生法・破産申請が相次ぎ、余波がどのくらい拡大するかが懸念される。

### ■自動車解体

急激な鉄スクラップの価格低下により、収益がますます悪化している。

### ■小売

下旬になり、秋物に若干の動きがあるが、消費者の買い控えムードは強く、先行き見通しは全くよくない。

### ■小売

先月は大型スーパーセンター(ベイシア)オープンで売り上げ10%減のダメージを受けたが、今月はほぼ前年並みに回復している。年々

お盆セールの上上げと盛り上がり、に欠けてきた。

### ■中古車販売

相場は横ばい以下の観測(当面は在庫調整中心)。軽自動車に一極集中(先行き不安増大)。

### ■小売

依然として、ガンリン・原材料の値上げ等の影響で軒並み商品価格が値上げになり、消費低迷が続いて売上減が止まらない。(いろんな業種に影響が出てきている。)さらに、後半は天気も悪く人出もまばらであった。

### ■小売

客足が遠のき気味なので来店していたためにプレミアをつけたが、経費と労力が売上げに結びつかず、厳しい状況が続いている。

### ■農業機械販売整備

メーカー本機の値上げが、7月から9月にかけて行われ、平均7%アップしている。仮需要増が期待されたが3%程度か、むしろ在庫増が不安である。

### ■自動車・自転車小売

組合は共同購買事業が中心で、職員の人手不足が深刻。毎日平均150km走行が、240kmになった。

車へと移行しているようだ。

### ■小売・サービス

商店街の後継者が減少し、商店街存続の危機に瀕している。商店会連合会が中心となって、3年計画で後継者育成に力を注いでいる。

### ■小売・サービス

景況はどんどん悪化している。

### ■建設揚重

燃料費の高騰により、着工工事の減少で低迷状態が続いている。

### ■自動車一般整備

仕事量の減少に大変困っている。また、原材料(特に塗料代)価格が前年と比べ20%高騰している。納入業者へ値上げ幅圧縮等を依頼し、対応している。

### ■土木建築サービス

仕事は出ているのだが、事業量は減少している。廃業及び倒産の恐れのある企業情報が時々入るようになった。

### ■貨物運送

業界としては、サーチャージの申請を進めている。少々燃料は安くなつたものの、依然厳しい状況が続いている。

### ■組合員ではないが、仲間の会社が倒産した。

組合員ではないが、仲間の会社が倒産した。